

県立会津学鳳高等学校

実施期間・参加人数・滞在都市・現地交流校について

平成28年1月5日～9日までの5日間、台湾の新竹市にある清華大学の寮に滞在しながら、2年生20名が清華大学や実験高級中学、半導体企業のVIS、研究施設NSRCC、関渡自然公園、故宮博物館を訪問し、語学力を含めた科学的視点からの国際感覚を高める研修を行った。



▲ディベートの様子

実施概要について

【清華大学研修】 物理系研究室への訪問や脳科学研究センター、原子力研究センターへの訪問、再生可能エネルギーを含む講義を受講し、語学力を高めながら台湾の先端科学技術を学んだ。

【実験高級中学研修】 現地高校生とディベートを行ったり、互いの課題研究の発表を行ったりした。また、福島の実況を伝えるプレゼンも行い、歓迎式では20名全員でよさこい踊りを披露し、現地高校生と交流をした。



▲歓迎会でのよさこい踊りの様子

【企業・研究所研修】 半導体企業 VIS や研究施設 NSRCC を訪問し、施設を見学しながら台湾の最先端科学技術を理解する研修を行った。ここでは、台湾で働く日本人技術者の講話も聞き、日本と台湾の科学技術の協力関係の深さを理解した。

【自然環境・文化研修】 関渡自然公園では、現地ガイドから台湾の自然環境保全に対する考え方を学んだ。故宮博物館では、最新展示技術を体験し、歴史的文化財の保護方法を学んだ。

福島の実況発信や現地におけるエネルギー学習について

清華大学では、原子力関連の教授や研究者の前で、福島で行っている除染技術のプレゼンテーションと、日本の原子力発電の実況と今後に関するプレゼンテーションを行った。高級実験中学では、現地高校生や現地高校の先生方を前に、福島の復興状況に関してプレゼンテーションをした。エネルギー学習に関しては、清華大学で再生可能エネルギーと原子力技術の講義を受けて、施設見学も行った。

実施後の成果について

台湾を訪問前に会津大学と協力して、英語でのプレゼンテーション練習を行い、スライド作成や発表態度、質疑応答の学習を行った。事前学習の効果もあり、台湾での発表ではアドリブを加えて発表でき、落ち着いて質問に対応できた。現地高校生との交流の時間には、積極的に交流を行い、自らの英語力の手ごたえと異文化コミュニケーションの楽しさを感じることができた。同時に、もっと高いレベルでのコミュニケーションをしたいという欲求が生じ、語学力の学習意欲が向上した。また、台湾研修では、語学力の大切さを実感しただけでなく、台湾と日本のつながりについて理解が深まり、「国際感覚とは何か？」を考えることができる材料を多く得た研修になった。

2月末には全校生徒の前で海外研修報告を行い、研修成果を学校内に普及させた。また、来年度5月には会津学鳳中学校で海外研修報告を行い、成果を普及させる予定である。